科目名			担当教員	
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ			三浦 剛／元村 智明／石附 敬／高野 亜紀子／清水 冬樹／芳賀 恭司／眞嶋 智彦／二渡 努ほか	
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CP4254	2	1	SR（演習）	3年以上
履修登録条件		「ソーシャルワーク演習Ⅰ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方が履修登録できます。		
生成AI利用レベル		レポート　：　C	試験（スクーリング含む）　：　C	

・本科目は、当年度の「ソーシャルワーク実習Ⅰ」申込者を対象とします。
・本科目のスクーリングは、「実習指導Ⅰ-1」「実習指導Ⅰ-2」「実習指導Ⅰ-3」「実習指導Ⅰ-4」に分割されており、すべてのスクーリングを同一年度内に受講しなければなりません。同一年度内に受講ができなかった場合は、次年度以降「実習指導Ⅰ-1」から再受講となります（「実習Ⅰ」も要再申込）。
・「実習指導Ⅰ-1～3」は実習事前指導、「実習指導Ⅰ-4」は実習事後指導になります。
※実習事前指導スクーリングを欠席した場合、「ソーシャルワーク実習Ⅰ」は受講できません。また実習事後指導を欠席した場合も単位修得できません。
※今後の実習受け入れ状況などにより、ここに記載の内容・日程を変更する場合があります。『実習の手引き』や通信教育部HP掲載の『With』でご案内します。

科目の概要

■科目の内容

ソーシャルワーク実習の意義について理解をするとともに、実際に実習を行なう実習分野（利用者理解含む）と施設・事業者・機関・団体・地域社会等に関する基本的な理解をする。

社会福祉士として必要な具体的かつ実践的な専門技術等の習得を図る。

■到達目標

ソーシャルワーク実習の意義について理解をするとともに、専門技術や実際に実習を行なう実習分野（利用者理解含む）と施設・事業者・機関・団体・地域社会等に関する基本的な知識を得て、実習計画に反映することができる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」「俯瞰的な分析力」「倫理的実践力」「開発・創造力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価40%+スクーリング評価６０％

■教科書・参考図書

【教科書】（「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」と共通）

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座［専門科目］８ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習（社会専門）』中央法規出版、2021年

【参考図書】

1）日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座［共通科目］１２ソーシャルワークの理論と方法（共通科目）』中央法規出版、２０２１年

2）日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座［共通科目］１１ソーシャルワークの基盤と専門職（共通・社会専門）』中央法規出版、２０２１年

スクーリング

■スクーリング受講申込上の注意

- この科目は、スクーリングの受講が必須となります。
- １クラス 20 人以内の少人数で開講します。
- 受講料は 10,000 円となります。
- 受講許可証・納入依頼書は、各受講判定日（申込締切日）以降に発送します。
- スクーリング開講日・申込締切日は、通信教育部 HP 掲載の『試験・スクーリング情報ブック』または『With』を参照ください。
- 申込方法は、『実習の手引き』や通信教育部 HP 掲載の『With』でご案内します。
- クラス分けは無作為に行いますので、教員の指定はできません。
- 申込締切後の受講日・受講地の変更は受け付けしません。必ずしも第一希望での受講ができない場合があります。ご了承ください。
- 公共交通機関の延着を除き、遅刻・欠席は認められません。また、スクーリング終了時間前の退席も認められません。

■スクーリング受講条件

受講判定日までに

①「ソーシャルワークの基盤と専門職」「ソーシャルワーク演習」「ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）」「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」の４科目分すべてのレポート提出

②「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」課題１レポートの提出

③（「指導Ⅰ-1・2」スクーリング当日までに）『課題ノート』の提出

④実習選考試験の合格

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	ソーシャルワーク実習の意義を理解する。	ソーシャルワーク実習の位置づけやその意義、目標などを学ぶ。
2	実習先で必要とされる価値規範、倫理について理解する。	社会福祉士の倫理綱領を用いて、価値と倫理に基づく専門職の姿勢を学ぶ。
3	実習先領域について理解する。①	実習先領域の利用者や利用者が抱える生活課題、または領域での課題について学ぶ。
4	実習先領域について理解する。②	実習先領域のソーシャルワーク専門職、そのほかの専門職について調べ、まとめる。

5	実習を行う上で必要とされる学習方法、評価について理解する。	実習記録やケース記録などの記録内容や記録方法について学習する。またスーパービジョンの受け方などについても学ぶ。
6	実習先における個人のプライバシー保護と守秘義務について理解する。また契約関係について理解する。	事例をつかって、個人のプライバシー保護や守秘義務について、話し合い、学ぶ。実習における契約関係について確認する。
7	実習計画案の作成①	実習計画案の作成方法等について学び、実際に作成する。
8	実習計画案の作成②	作成した実習計画案を他の履修者や教員と共有し、指摘を受け、修正する。
9	実習計画案の作成③	修正した実習計画案を、事前訪問などの機会を利用して、実習先指導者に提出して指摘を受け、修正する。

■スクーリング申込方法

『実習の手引き様式集』より指定の様式で申し込んでください。申込締切日は 7／31（必着）です。

※開講地・開講日程は通信教育部 HP 掲載の『試験・スクーリング情報ブック』を参照ください。

※「実習指導Ⅰ-4」は、実習期間決定後に調整します。

■スクーリング開講予定

※詳細は『試験・スクーリング情報ブック』を参照ください。

「実習指導Ⅰ-1」➡会場：各地開講時期：８月

「実習指導Ⅰ-2」➡会場：各地開講時期：９月

「実習指導Ⅰ-3」➡会場：各地開講時期：11 月

「実習指導Ⅰ-4」➡会場：各地開講時期：３月

■スクーリング受講料

「実習指導Ⅰ」スクーリング受講料は 10,000 円です。「実習指導Ⅰ-1」スクーリング受講後に納入依頼証を発送します（実習指導Ⅰ-1～4 の 4 回分受講料として 10,000 円です）。

レポート学習

■在宅学習８のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	社会福祉士養成とソーシャルワークの実習位置づけ	ソーシャルワーク実習の位置づけについて、資格制度の見直しやその養成課程を理解する。 キーワード：資格制度、養成課程、教育カリキュラム	社会福祉士に求められる役割と新たな教育カリキュラムについて理解しましょう。また、ソーシャルワーク実習の基本的枠組み、実習指導者や担当教員について、教育内容等について理解しましょう。

2	ソーシャルワーク実習教育内容､評価ガイドラインについて	ソーシャルワーク実習教育内容・実習評価ガイドライン、ソーシャルワーク実習指導ガイドラインについて理解する。 キーワード：ソーシャルワーク実習教育内容・実習評価ガイドライン、ソーシャルワーク実習指導ガイドライン	ソーシャルワーク実習教育内容・実習評価ガイドライン、ソーシャルワーク実習指導ガイドラインについて学習し、ソーシャルワーク実習を具体的に理解イメージできるようになりましょう。
3	・ソーシャルワーカーとしての社会福祉士､社会福祉士の新たな役割と機能､社会福祉士の責務について。 ・ソーシャルワークの枠組みについて。	ソーシャルワーカーとしての社会福祉士とはどういう意味であるのかを役割や機能、ソーシャルワークの枠組みを通して理解する。 キーワード:ジェネラリスト・ソーシャルワーカー、ソーシャルワーク機能、価値、倫理、知識、技術、義務、ソーシャルワークの枠組み	ソーシャルワーカーとしての社会福祉士とは、ソーシャルワーカーと社会福祉士の関係を理解し、そのためにソーシャルワークの枠組みを､キーワードを中心に確認しましょう。
4	実習の場と形態 法令上のソーシャルワーク実習施設､フィールド･ソーシャルワークとレジ デンシャル･ソーシャルワーク実習など､さまざまな実習の形態について	法令上の相談援助実習施設の範囲、フィールド・ソーシャルワーク､レジデンシャル･ソーシャルワークの特徴と分類、その代表的実習先を理解する。 キーワード:施設の範囲､フィールド･ソーシャルワーク､レジデンシャル・ソーシャルワーク	法令上の相談援助実習施設の範囲を法律ごとにまとめてみましょう。また、フィールド・ソーシャルワークとレジデンシャル・ソーシャルワークの特徴について、そして代表的な実習先について理解しましょう。
5	契約関係の中にある実習 実習契約関係の理解 実習機関･施設におけるリスクマネジメントについて	実習における契約の意義について、また、契約内容について理解する。併せて、プライバシー情報を含む実習機関におけるリスクマネジメントの必要性について理解する。 キーワード：実習契約、リスクマネジメント、守秘義務、個人情報保護	実習における契約書締結の意義について､「実習委託と指導関係の構造」から整理してみましょう。また、実習にかかわるリスクとなどのようなことが考えられるのかまとめてみましょう。
6	実習スーパービジョンの理解 ・実習スーパービジョン関係 ・実習スーパービジョンの実際	スーパービジョン、実習スーパービジョンの意義および定義、機能、効果について､また､スーパービジョンの構造とスーパーバイザーの権能について理解する。 キーワード:スーパービジョン､実習スーパービジョン、スーパービジョン機能（管理・教育・支持)、スーパーバイザーの権能	スーパービジョンおよび実習スーパービジョンの意義および定義、機能、効果について理解しましょう。また、スーパービジョンの構造とスーパーバイザーの権能について、実習教育における二重のスーパービジョンシステムについて理解しましょう。
7	実習準備･事前学習課題 実習機関・施設、地域の理解事前学習とし	事前学習の重要性を理解する。また､各分野（高齢者、障害者、児童、社会福祉協議会、医療分野等）の実習機関・施設を理解する。	事前学習の重要性を理解しましょう。また、実習機関・施設について、教科書を参考に分野ごとに確認しましょう。また、インターネ

	て実習先を理解する意義 ソーシャルワーク実習機関・施設、それらが所在する地域について	キーワード：事前学習、実習施設、地域踏査	ットを利用する、実際に赴くなどをして、地域理解の方法も確認しましょう。
8	実習機関・施設、地域の利用者理解と援助方法 実習機関・施設における利用者 実習機関・施設のある地域における利用者援助方法について	実習機関・施設における利用者理解の方法について、また、実習機関・施設のある地域における利用者理解の方法について理解する。また、施設および地域における援助の方法について理解する。 キーワード：利用者理解、地域福祉の推進、個別支援、他の職種との連携、在宅福祉サービス、小地域ネットワーク活動、組織化支援、社会資源開発、地域ケアシステム	実習機関・施設、地域の利用者理解と援助方法についてキーワードを中心にまとめましょう。

■レポート課題

課題１	**（スクーリング事前課題）** ソーシャルワーク実習の目的と構造について整理し、実習で学びたいこと、動機を具体的に述べてください。また、実習における課題を講義、演習との連動を踏まえながらまとめてください。
課題２	**（実習事前課題）** 『ソーシャルワーク実習課題ノート』を作成・提出してください。 ※「実習指導Ⅰ-1」「実習指導Ⅰ-4」スクーリングまでに各所定の範囲（ワークシート）に手書き作成で取り組み、受講当日に提出してください。 ※『課題ノート』は実習申込者へ個別に配付します。 ※「ソーシャルワーク実習Ⅰ」の受講免除が認められた方は、ワークシートの一部提出不要。
課題３	**（実習事前課題）** 実習先に対応した「実習計画案」「実習計画書」を作成してください。 ※ 指定の様式を使用すること（対象者に個別配付）。 ※「実習指導Ⅰ-2」スクーリング受講時に実習計画案のコピー1 部（A4 サイズ、両面コピー不可）を大学へ提出すること。 ※ 原本は自身で保管しておくこと。 ※「実習指導Ⅰ-2」スクーリング受講時に教員の添削を受けた後、実習先へ事前訪問を実施（実習先のプログラムとすり合わせ）し、完成した実習計画書を実習開始 1 ヵ月前までに大学・実習先へ提出すること。 ※「ソーシャルワーク実習Ⅰ」の受講免除が認められた方は、担当教員指導のもと、仮の実習先を想定して実習計画案を作成すること。
課題４	**（実習事後課題）** 実習Ⅰで学んだ内容を分析・考察してください。

	※ 内容は・実習施設の概要・実習内容・実習課題の達成状況・全体のまとめ（今後の課題も含む）を記載してください。その他の項目を追加しても構いません。単なる感想文とならないよう注意してください。 ※ 通常のレポート提出台紙で提出してください（字数 3,000 字程度）。 ※「ソーシャルワーク実習Ⅰ」の受講免除が認められた方は、提出不要です。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■各課題提出期限・提出方法

課題１：実習Ⅰ受講年度の 7／1～7／31（必着）

※通常のレポート提出台紙を使用してください。

課題２：「実習指導Ⅰ-1」「実習指導Ⅰ-4」スクーリング当日

※『課題ノート』でご案内の所定の範囲（ワークシート１・２）に取り組み、各スクーリング受講日に提出してください（実習開始前に完成）。

※スクーリング会場にて回収しますので、必ず持参してください。忘れた場合や記載内容が不十分な場合は、スクーリングが不合格となり、当年度の実習受講はできません。

課題３：実習計画案

「実習指導Ⅰ-1」スクーリング受講後に作成、「実習指導Ⅰ-2」スクーリングで提出

実習計画書

「実習指導Ⅰ-2」スクーリングで教員の添削後、実習先への事前訪問を終えたら大学、実習先へ提出

課題４：実習終了後～指定期日までに作成・提出

※提出締切は『試験・スクーリング情報ブック』を参照ください。

※通常のレポート提出台紙を使用して提出してください。